



R. I. 第2630地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 松之木 映一

創立 1991 年 5 月 20 日

- ◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
- ◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
- ◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
- ◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

| | 会員数 | 出席会員 | 出席 | Make-up | 出席率 |
|--------------|------|------|------|---------|--------|
| 本日 952 回 | 51 名 | 51 名 | 43 名 | — | 84.31% |
| 前々回 950 回 | 51 名 | 51 名 | 43 名 | 1 名 | 86.27% |

- <点 鐘> 会長 足立 常孝
- <ロータリーソング> 奉仕の理想
- <高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>
- <本日のゲスト>
高山市史編纂員 学芸委員 田中 彰 様
- <会長の時間> 会長 足立 常孝

本日の例会は、社会奉仕委員会担当の「郷土をもっと知ろう」という目的で、我々の世代では郷土の歴史について一番勉強されている先生をお招きして、卓話をいただきます。伊藤委員長よろしくお願いたします。



さて、本日の会長の時間は、アルジェリア人質事件についてお話しさせていただきます。事件発生後、日揮という社名が毎日報道されています。発生した数日間、被害者の氏名を伏せていました。日揮側にふせたい理由があったと思われ。報道各社が日揮と政府に要望し、被害者の氏名が発表されました。また、政府専用機で、無事解放された方、亡くなられた方が日本に帰られたニュースもありました。なぜ政府専用機なのかな？ と疑問を持ちました。理由①テロ事件であった。②この事件で、多数の国々の方が大勢犠牲になった。③エネルギー確保に従事していた方々の被害であった。

24日の社説を読んで「政府専用機が使用されて、当然」と思いました。日揮はエネルギー調達プラント会社で、社員数は約2千名。社員の1割が常に海外の建設現場にいます。灼熱の砂漠、多湿のジャングル、氷点下の氷原。地球上のあらゆる極限の地で、この会社の社員は働いているそうです。「資源がそこにあるから」「石油やガスは、もう簡単な場所では、採れない」「遠い国、厳しい気候、治安が悪い社会に飛び込んでいくのは、この仕事の宿命だ。」と日揮の社員は、リスク覚悟で赴任しているそうです。

多くの途上国の政府が、日揮という一企業に絶大な信頼を寄せているそうで、その理由は、日本人の技術者が現地での若者を教育して、その国の未来を担う人材を育てているから、過去に沢山の実績がある事を発展途上の資源国が知

っているからです。

遠隔地に単身赴任する駐在員が口にする一番の困難は、「危険」ではなく「孤独」だそうです。孤独に耐え、相手国に尽くし、日本の価値観を伝えた侍たちのなきがらが、25日に政府専用機で帰還いたしました。

被害で亡くなられた方々に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

<幹事報告> 幹事 田中 雅昭

- ◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より
 - ・ロータリーレートのお知らせ
2月より1\$ = 88円
- ◎国際ロータリー第2630地区2013-2014年度ガバナーより
 - ・2013-2014年度R I 会長テーマ
「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」と発表されました。

- <フジマキネクタイより>
 - ・次年度R I 会長テーマ入りネクタイ&バッチの注文の受付について

- <会報>
 - ・高山RC



<本日のプログラム>

社会奉仕委員会

委員長 伊藤 正隆



<卓話>

講師：高山市史編纂員

田中 彰 様

伊能忠敬 飛驒へ来たる

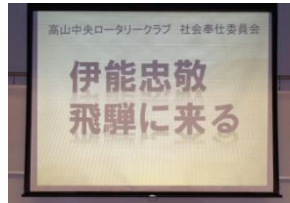
江戸時代、我が国では幕命により何回か国絵図が作られ、これらの絵図により膨大な情報が得られてきた。その中の飛驒の国絵図は、高山市や飛驒国の 400 年



にわたる歴史を二次元の平面で確認することができ、江戸時代の景観、交通、街道、在所の様子がつぶさにわかる。幕末には伊能忠敬が飛驒に入り、街道、緯度と経度を正確に測り、城下町も測量をしている。忠敬による測量日誌と、図面が残されている。

(伊能忠敬による飛驒測量)

伊能忠敬は 50 歳で家業から隠居し、51 歳の時、幕府天文方の「高橋至時」(たかはし よしとき)に師事した。忠敬は地球の大きさを測りたいという大きな目標を持っていた。



忠敬は至時の指示のもと、幕府の許可を得て、ほとんど私費で蝦夷地へ測量に向かった。忠敬による江戸～蝦夷までの地図は素晴らしく、幕府はその成果を高く評価した。そのため地図作成測量は、次第に幕府の事業として支援が受けられるようになり、伊能隊の本格的全国測量は体制が整備されてゆくことになる。

伊能忠敬測量隊は、寛政 12 年(1800)から文化 13 年(1816)までの 17 年にわたり全国を実測した。のべの測量日数は 3,754 日、夜間に天体観測を行った日数は 1,404 日という。

幕府へ上呈されたこれらの地図原本は、明治 6 年の皇居炎上の際に消失してしまい、伊能家から追加献納された控図(副本)も東京大学の図書館に移された後、大正 12 年の関東大震災で焼失してしまった。しかし、模写本が国立国会図書館やアメリカ議会図書館に保存されていたため、

(財)日本地図センターがそれを編集し、『伊能大図総覧』という伊能図の本が発刊された。

忠敬が飛驒へ測量に入ったのは、文化 11 年(1814)、69 歳のときであった。安川通



りの本陣「鍵屋(現在の匠館)」で宿泊し、北極星を観測した。高山の井戸が 36 度 8 分 30 秒と計測され、実際の井戸の 36 度 8 分 36 秒と比べても 6 秒の差であり、極めて精度が高い。これらの測量作業は事前に飛驒郡代所へ、4 月 3 日に「先触」が届き、人馬、宿泊についても差支えないよう便宜を図るよう沙汰している。飛驒の測量隊は 15 人で、村々の人足は御厩野村で 51 人の人足を出した記録がある。

伊能隊の第 1 回測量のときは、勘定方からの「添触」、第 2 回は道中奉行、勘定奉行からの「先触」、第 3 回からは人馬の無賃貸出し、第 4 回からは人足 5 人、第 5 回からは幕府直轄事業となり、忠敬も文化元年には小普請組(10 人扶持)に取り立てられていた。

伊能図は日本の地図作成史上、大きな意義をもち、明治初期、国土の基本的な地図として大いに利用されている。もし伊能図がなかったら、日本の近代地図作成事業の進展は遅れただろう。

<ニコニコBOX>

本日の講師 高山市史編纂員の田中彰様、足元の悪い中お越しいただきありがとうございます。卓話をよろしく
お願いいたします 理事役員一同

本日は高山市史編纂員 田中彰先生をお招きして高山(郷土の歴史)をもっと知ろう・学ぼう例会です。よろしく
お願いいたします。 足立 常孝

本日の講師、田中彰様 ようこそお越し頂きありがとうございます。お話を楽しみにしています。伊藤 正隆

高山市史編纂員 田中彰様、本日は卓話をよろしく
願います。次回の飲み会の酒の肴になるような話も
願います。 松之木 映一

田中彰さん、お久しぶりです。今日も当クラブのために
講師をして頂きありがとうございます。奥さまはお元
気ですか。よろしくお伝えください。 平林 英一

田中先輩、今日はよろしく願います。今日も出席し
て良かったと思える例会になりそうです。 西倉 良介

高山市史編纂員 田中彰様の御来訪を歓迎いたします。
地図のお話を楽しみにしています。 今井 俊治

還暦を過ぎても頑張ってみえる田中先生に敬意を表し
て同窓生より。 三枝 祥一

本日卓話を頂ける田中さんにも大変申し訳ありません
が、お話の前に早退させていただきます。 久々野 国良

昨日、知事選挙が終わりました。色々お世話になりま
した。これで、やっと正月が来ます。 高殿 尚

週末は学会で最新の医療を学んできました。博多最
高!! 周 信夫

昨日は、地区委員会を行い大成功に終わりました。車
を貸して頂いた島さん、ワインを差し入れて頂いた
坂之上さん、懇親会に参加して頂きました黒地さん、
皆様方には大変お世話になりました。 永家 将嗣

父の葬儀におきましては多くの方々にご会葬頂き、ご
厚志に深く感謝お礼を申し上げます。感謝の気持ちで
ニコニコへ。 高木 純

誕生日のお祝いをありがとうございました。

和田 良博